

総 計 審 第 8 号

令和 6 年 1 月 12 日

四街道市長 鈴木 陽 介 様

四街道市総合計画審議会

会 長 大 下



新たな四街道市総合計画について（答申）

令和5年12月22付け政第139号で諮問のありましたこのことについて、  
別添のとおり答申します。



## 新たな四街道市総合計画について（答申）

四街道市は、日本全体の人口が減少している中で、若い子育て世帯を中心とした転入などにより、全国でも数少ない人口増加が続く自治体のひとつとなっています。

しかしながら、将来的に見込まれる人口減少や人口構成の不均衡をはじめ、四街道市を取り巻く社会的環境は大きく変化しており、複雑化・多様化する課題を克服し、みんなが安心して住み続けられる・みんなが住み良いと感じる四街道に向けた新たなまちづくりの計画が重要となっています。

このような中、本審議会が、「新たな四街道市総合計画（案）」として、四街道市が目指すまちづくりの方向性を示す最上位の方針となる基本構想（案）や、今後の取組方針を示す最上位の計画となる第1期基本計画（案）について、市長より諮問され、審議を託されたことは極めて重要な意義を有するもので、その責務を深く認識しているところです。

本審議会では、こうした認識のもと、諮問された「新たな四街道市総合計画（案）」について、長期的な視点で四街道らしい特色を踏まえたまちづくりの方向性が基本構想において明確にされているか、また、基本構想の実現に向けて、社会的環境の変化やまちづくりの課題に対応する基本計画となっているかという点を考慮しながら慎重に審議した結果、その内容については、おおむね適切であると評価するものです。

今後、策定された新たな総合計画においては、市民をはじめとしたまちづくりに関わる多様な主体と共有し、連携・協働を一層推し進めながら、地方創生やSDGsの推進、デジタル社会といった主要課題への対応を図る計画の着実な推進を期待するものです。

なお、審議過程において、各委員から下記の意見・要望が出されたことから、計画の推進にあたっては、当該意見等を十分に尊重し、その実現に努められるよう要望します。

### 記

#### 1 新たな四街道市総合計画基本構想（案）について

- (1) 新たな基本構想（案）は、四街道らしさが感じられる「4つのまちづくりの道」という新しい考え方で構成されている点、また、さまざまな人の幸せを目指すものとして、市民生活に身近な感覚でとりまとめられている点について大いに評価します。土地利用についても親しみのある柔らかな言葉を用いるなど、表現を工夫するよう努められたい。

## 2 新たな四街道市総合計画第1期基本計画（案）について

- (1) 計画の推進にあたっては、毎年度、市総合計画推進本部による各事業の適切な振り返りを行うとともに、総合計画審議会による意見も踏まえた評価のもと、計画の適切な進行管理を実施するほか、その内容を市民にも公表し、みんなで計画を共有しながらまちづくりを推進するよう努められたい。
- (2) 計画に基づく各事業の推進にあたっては、円滑かつ実効性のあるものとなるよう、市民協働や公民連携などのまちづくりの推進力（エンジン）を効果的に活用するとともに、市内部の連携のもと、その事業効果が最大となるよう努められたい。

## 3 全般事項

- (1) 新たな四街道市総合計画の周知にあたっては、わかりやすくかつ伝わりやすいものとなるよう、平易かつ適切な表現や図・イラストなどを用いるとともに、行政用語や外来語などに用語説明を付すよう努められたい。